



東京文化発信プロジェクト

東京から生まれる新しい文化の波

# F/T 10

フェスティバル / トーキョー  
トーキョー発、舞台芸術の祭典

プレスリリース  
PRESS RELEASE

2010年4月27日

お問合せ：フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-9-1 にしすがも創造舎  
NPO法人アートネットワーク・ジャパン内 担当：湯川、及位

Tel:03-5961-5202 Fax:03-5961-5207 E-mail:toiawase@anj.or.jp <http://festival-tokyo.jp>

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

## 開催趣旨

### トーキョー発、舞台芸術の祭典

この度、東京からの文化発信を目指す東京都および公益財団法人東京都歴史文化財団、芸術文化によるまちづくりを推進する豊島区およびとしま未来文化財団、そしてフェスティバル運営に実績のある特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパンは、第三回フェスティバル/トーキョー（F/T10）を開催する運びとなりました。平成21（2009）年3月に開催された第一回（F/T09春）、同年10月～12月に開催された第二回（F/T09秋）では、先鋭的なラインナップとフェスティバルならではの参加型プログラムで大きな話題を集め、東京、そして日本を代表する国際芸術祭として着実な一歩を踏み出すことができました。続く第三回では、これまでの成果を踏まえ、アジアを代表する芸術祭としての地位を確立すべく、さらなる飛躍を目指して参ります。

舞台芸術は、「いま、ここ」の体験であり、「その場、その時」に集う特定少数の観客にしか伝えることの出来ない表現です。デジタル技術の進化によって、生身のコミュニケーションの希薄化や単純化が懸念される今日だからこそ、フェスティバル/トーキョーは、この舞台芸術がもつ特性を生かし、生のコミュニケーションの力強さ、その価値を探る多様な実験と対話の場として、挑戦を続けて参ります。

こうした基本姿勢のもと、第三回目はさらなる進化を遂げるべく、国内外から、新作・世界初演を含む約20演目をラインナップ、加えて池袋西口公園を使った観客参加型の各種プログラムなど、地域・市民との協働のもと、フェスティバルを盛り上げる様々な仕組みや関連プログラムをさらに充実させて参ります。また、これまで豊島区内に限られていた主催公演を、都内の他地域にも拡大するほか、あらたに公募プログラムを実施し、若手アーティストの活動をサポートする機能も担って参ります。

私たちはこのフェスティバルの開催を通じて、次の時代を切り開く新しい価値の創造に着手し、国際都市トーキョーから世界に向けた創造と発信を推進していきます。

フェスティバル/トーキョー 主催者一同

#### <東京文化発信プロジェクトとは>

東京文化発信プロジェクトは、東京ならではの芸術文化の創造・発信と、芸術文化を通じた子供たちの育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。

演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベント、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどの事業を展開しています。東京文化発信プロジェクトに参加し、東京の文化を体験・創造してみませんか。

## 開催概要

- 名 称： フェスティバル/トーキョー10 Festival/Tokyo 10
- 会 期： 2010年10月30日(土)～11月28日(日)(予定)
- 会 場： 東京芸術劇場 中ホール、小ホール、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)  
にしすがも創造舎、シアターグリーン、自由学園明日館 ほか
- プログラム： F/Tパフォーマンス：国内外から舞台芸術(演劇・ダンス)作品を約15演目ラインナップ。  
公募プログラム：『演劇/大学』の発展形として、次世代を担うアーティストをサポート。  
参加作品：F/Tと同時期に開催される、トーキョー発の作品群。都内劇場、劇団等の協力により集結。  
関連企画：観客参加型の各種プログラム、レクチャー、アーティスト・トーク等。  
F/T提携事業：F/Tと同時期に開催される、各種事業と提携。
- 主 催： フェスティバル/トーキョー実行委員会 東京都、豊島区、  
東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、財団法人としま未来文化財団、  
NPO法人アートネットワーク・ジャパン

## フェスティバル/トーキョーとは？

### 日本最大の国際舞台芸術フェスティバル

F/T09春、F/T09秋の連続開催を通じて、39作品、282公演、のべ1392名の出演者・スタッフ、そして12万人を超える観客が集い、名実ともに日本を代表する国際的な舞台芸術祭として順調なスタートを切りました。「あたらしいリアルへ」「リアルは進化する」というキャッチフレーズのもとラインナップされた先鋭的な作品群は、今日の世界のリアリティとその表現の可能性を問うものとして、国内外で大きな反響を呼び、高い評価を獲得しました。

### 世界最先端を担うクリエイション型フェスティバル

F/T09春・秋を通じて一貫してきたF/Tの基本方針は、「クリエイション型＝創造するフェスティバル」としてアーティストと共に作品を創り、今日の社会に向けて表現の可能性を問う場として在り続けることです。ラインナップの1/3以上の作品がF/Tによる製作または共同製作作品となっており、それらはすべて、最先端の表現として世界中からの注目を集めています。国内はもとより、アジアや海外を拠点とするアーティストにとって、F/Tとともに作品を製作・発表することが一つの目標となるようなフェスティバルを目指し、F/T10でも多くの新作・世界初演を迎えながら、同時代の表現の最先端を担います。

### 開かれたプラットフォームとしてのフェスティバル

アジア最大級の都市である“トーキョー”。アジア、そして世界中からの才能と情報が集中する巨大都市の利点を生かし、多様な表現や議論が絶えず生成するプラットフォームとしての求心力を高めていきます。そのため、劇場内で上演される作品以外にも、誰もが主体的に参加できる参加型プログラムやレクチャー、トーク等の関連事業も多数実施し、常に運動する主体としてのフェスティバルを盛り上げます。

### 若手アーティストを応援する、『公募プログラム』の開始

F/T09春・秋を通じて開催した『演劇/大学』の発展形として、次世代を担うアーティストを広く公募し、その自主公演をサポートする『F/T公募プログラム』を新たに立ち上げました。地方からのカンパニーも多数参加。さまざまな課題をF/Tと共有し、アーティストの新たなステップを共に探ります。

## 企画概要

### F/Tパフォーマンス

国内外から舞台芸術（演劇・ダンス）作品を約15演目ラインナップ。

【海外演目】ジゼル・ヴィエンヌ、ロジェ・ベルナット、クリストフ・マルターラーほか

【国内演目】高山明（Port B）、黒田育世、前田司郎（五反田団）、松田正隆（マレビトの会）、三浦基（地点）ほか  
追加の演目情報は、決定次第、随時ウェブサイト等にて発表。

### F/T公募プログラム

『演劇/大学』の発展形として、次世代を担うアーティストをサポート。

岡崎藝術座、神村恵カンパニー、小嶋一郎、C/Ompany、dracom、France\_pan ほか

追加の演目情報は、決定次第、随時ウェブサイト等にて発表。

### 参加作品

F/Tと同時期に開催される、トーキョー発の作品群。都内劇場、劇団等の協力により集結。

演目情報は、決定次第、随時ウェブサイト等にて発表。

### 関連企画

池袋西口公園を使った観客参加型の各種プログラムなど、フェスティバルを盛り上げるさまざまな仕組みや、レクチャー、アーティスト・トーク等の関連企画を拡充。

詳細は決定次第、随時ウェブサイト等にて発表。

### 提携事業

F/Tと同時期に開催される、各種事業と提携。詳細は決定次第、随時ウェブサイト等にて発表。

## F/Tパフォーマンス

以下のアーティストによる作品を、フェスティバル/トーキョー10の主催作品として発表予定。

今後、追加の主催作品、参加作品の発表を随時予定しています、お見逃しなく！

### 【海外演目】



© Sébastien Durand

構成・演出・振付・舞台美術：ジゼル・ヴィエンヌ【フランス】

映像：高谷史郎 霧の彫刻：中谷芙二子 テキスト：デニス・クーパー

『This is how you will disappear』(仮) 10月下旬～ にしすがも創造舎

初演：2010年7月 アヴィニョン演劇祭

共同製作：ル・クワルツ国立舞台(フランス・ブレスト)、フェスティバル/トーキョー、急な坂スタジオ(横浜)、アヴィニョン演劇祭 ほか

自作の人形を駆使した独自の世界観で現代的「美」の臨界点に挑戦する女性アーティスト、ジゼル・ヴィエンヌ。霧の立ち込めるハイパーリアルな森の中で繰り広げられる、崩壊と生成の美学とは？ ダムタイプの高谷史郎、霧のアーティスト中谷芙二子など日本からの才能も参加し、あらゆるジャンルのアートを横断する国際共同製作作品、待望のアジア初演！



© Cristina Fontsaré

演出：ロジェ・ベルナット【スペイン】

『パブリック・ドメイン』(仮) 10月下旬～ 池袋西口公園(予定)

バルセロナを拠点に公共空間でのパフォーマンスの可能性を探求するアーティスト、ロジェ・ベルナット。広場に集まった大勢の観客たちはヘッドフォンを装着し、そこから流れる指示に従って行動。プライベートから社会的な話題まで膨大な質問に答えながら、いつの間にか個人が織り成す集団的スペクタクルが立ち現れる。「パブリック」を問う観客参加型演劇。



© Dorothea Wimmer

演出：クリストフ・マルターラー【スイス】、舞台美術：アンナ・フィーブロック【ドイツ】

『Riesenbutzbach』(巨大なるブツバツハ村 仮訳)

11月19日(金)～21日(日)(予定)、東京芸術劇場 中ホール

製作：ウィーン芸術週間

共同製作：ナポリ演劇祭、ヘレニック・フェスティバル(アテネ)、アヴィニョン演劇祭、ヴロツワフ国際演劇祭、クール劇場、フェスティバル/トーキョー

ポストドラマ演劇の巨匠クリストフ・マルターラー、満を持しての初来日公演がついに実現！極度に引き延ばされた時間、繰り返される空虚な身振り、絶妙のアカペラにのって浮遊する声、ことば——。どうしようもなくコミカルでもの哀しい奇跡の音楽劇が描くのは、滅びゆく社会へのノスタルジーか、高度資本主義がもたらす未来への痛烈な警鐘か？近年はパリ・オペラ座の演出も手がける舞台美術家アンナ・フィーブロックによる美術も必見。

## F/Tパフォーマンス

### 【国内演目】

構成・演出：高山明 (Port B) 新作『タイトル未定』 10月下旬～ 東京都内 (予定)

振付・演出：黒田育世 新作『あかりのともるかがみのくず』 11月初旬～ にしすがも創造舎 (予定)

作・演出：前田司郎 (五反田団) 新作『タイトル未定』 11月初旬～ 東京芸術劇場小ホール1 (予定)

作・演出：松田正隆 (マレビトの会) 新作『タイトル未定』 11月中旬～ 自由学園明日館 (予定)

演出：三浦基 (地点) 新作『タイトル未定』 11月中旬～ 東京芸術劇場小ホール1 (予定)

## 9月 チケット発売開始予定

公演の詳細、追加の演目情報、チケット販売等の詳細につきましては、決定次第、フェスティバル/トーキョー公式ウェブサイトにてご案内をさせていただきます。

## F/T 公募プログラム

F/T09春、秋と連続開催し、大学という場を通じた新たな才能の育成および演劇の創造現場にフォーカスして上演とフォーラムを行った『演劇/大学』。F/T10ではその発展形として、次世代を担うアーティストを広く公募し、その自主公演をサポートする『F/T公募プログラム』を新たに立ち上げます。地方からのカンパニーも多数参加。さまざまな課題をF/Tと共有し、アーティストの新たなステップを共に探ります。

時期：2010年11月～

会場 (予定)：シアターグリーン (BIG TREE THEATER、BOX in BOX THEATER、BASE THEATER)、自由学園明日館

主催：各参加カンパニー

共催：フェスティバル/トーキョー

### 【参加カンパニー (五十音順)】

岡崎藝術座 (東京) 『古いクーラー』 作・演出：神里雄大

神村恵カンパニー (東京) 『飛び地』(仮) 振付：神村恵

小嶋一郎 (東京) 『日本国憲法』 演出：小嶋一郎

C/Ompany (東京) 『イキ、テ、タイ』 振付・出演：大植真太郎、柳本雅寛、平原慎太郎

dracom (大阪) 『事件母 (JIKEN-BO)』 作・演出：筒井潤

France\_pan (大阪) 『ありきたりな生活』 作・構成・演出：伊藤拓 他



## メイン会場（予定）

フェスティバル/トーキョーは、東京都・豊島区・池袋を中心に、以下のメイン会場で開催されます。



### 東京芸術劇場（運営：公益財団法人東京都歴史文化財団）

東京芸術劇場は、東京都が都民のための音楽・演劇・舞踊等の芸術文化の振興とその国際交流を図るため、平成2年10月に開館しました。施設として大ホール、中ホール、小ホール1、小ホール2ほか、会議室や展示ギャラリー等を運営しています。フェスティバルでは中ホールと小ホールを主に使用します。平成21年夏には、野田秀樹が東京芸術劇場の初代芸術監督に就任しました。



### あうるすぽっと（運営：財団法人としま未来文化財団）

あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）は、演劇を中心とした舞台芸術の発信・創造・育成のための劇場として、平成19年9月に開館しました。301席のコンパクトで臨場感あふれる、観る人にも、創る人にも親しまれる劇場です。劇場プロデュース公演や提携公演などを中心にした公演プログラムと、ワークショップやレクチャーなどの育成プログラムを展開し、発信する劇場として注目されています。



### にしすがも創造舎（運営：NPO法人アートネットワーク・ジャパンとNPO法人芸術家と子どもたち）

にしすがも創造舎は、中学校の閉校施設を転用し、文化芸術創造の拠点として、平成16年8月に開館しました。稽古場提供事業を中心に、より開かれた形をめざしアートと地域を結ぶ多様なアートプログラムを展開しています。元体育館を転用した200席の特設劇場は、東京国際芸術祭（TIF）のメイン会場として、開館当初からアーティストの活動を支えてきました。フェスティバル/トーキョーでも、可動する空間の特性を活かし、国内外の演目を上演します。



### シアターグリーン（運営：シアターグリーン）

シアターグリーンは、寺院の社会事業として演劇活動の場を提供する事を考え、新劇団の育成・若手劇作家の新作発表・実験的演劇等を目的に掲げて昭和43年に開館しました。以来小劇場という狭小空間から常に“演劇の熱”を発し続け、今では小劇場の老舗として若手劇団の登竜門となりました。平成17年には三つの小劇場のシアターコンプレックスとしてリニューアルし、多種多様な舞台を提供しています。幅広い観客層に向けての「グリーンフェスタ」「学生芸術祭」等も開催しています。



### 自由学園明日館（運営：株式会社自由学園サービス）

自由学園明日館は、大正10年に開校した自由学園の元校舎。20世紀を代表する巨匠F.L.ライトとその弟子の遠藤新の設計で、平成9年に国の重要文化財に指定されました。平成11年から3年がかりの保存修理工事を経て、現在は使いながらの保存、いわゆる「動態保存」を実践し、建物見学、公開講座、結婚式、コンサート、撮影など様々な用途に貸出を行っています。F/Tの会場となる講堂は、昭和2年に遠藤新の設計で建てられ、数多くのコンサートも開かれています。